

## 平成28年度 事業計画書

平成28年1月1日 から 平成28年12月31日まで

特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN

### 1. 事業実施の方針

開院一周年を迎えた「ラオ・フレンズ小児病院(LFHC)」、院長はじめ各部門長の外国人スタッフが4月末までに任期満了。新担当者へ業務が引き継がれ、新たなスタートとなる。ラオス人看護師がアンコール小児病院(AHC)へ研修に行くなど、手術室、新生児室オープンに向けての準備が進んでいる。海外から指導者を派遣し、医療教育、スタッフへの英語教育を行う。近隣地域にてアウトリーチプログラムを継続、地域と中央の医療連携モデルを確立する。円安が続く状況から、今までのJAPAN負担割合、予算の40%支援額を見直し、固定額の支援とすることがフレンズ USAと確認された。AHC教育支援事業、地域医療支援事業も継続して行い、カンボジア人医療従事者の増加と医療レベルの向上を図る。

ミャンマーのNGOと提携し、村における健康・衛生・栄養等の改善、衛生予防指導事業を行う。国内では運営資金を集めるとともに普及活動に努める。企業や団体への寄付活動の開発、団体設立20周年を記念したLFHCとAHCを回るツアーを開催する等、広く広報に努める。クラウドファンディングや新たなイベントを企画開催し、収益事業を開始する。国内での事業拡大に伴い、広いスペースを求め事務局の移転を検討する。またニュースレターの紙面刷新、インターンを募集する等、普及啓発活動に更なる重点を置く。

恒例となった赤尾看護師の報告会の開催や「グローバルフェスタ」への参加、「ラオスフェスティバル」にも参加する。エイズ普及啓発事業として青森県の中学校での「エイズと命」をテーマにした講演会を開催する。

### 2. 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定期時	実施予定場所	従事者予定期人数	受益対象者の範囲及び予定期人数	支出見込み額(千円)
医療教育支援事業	医療従事者への教育プログラムの提供や、食品衛生改善の指導をする。	通年 月、20日間	アンコール 小児病院	50人	カンボジア医療従事者約400人	15,750
医療施設運営事業	「ラオ・フレンズ小児病院」の運営、医療教育事業を行う	通年	ラオ・フレンズ 小児病院	40人	ルアンパバーン地区の不特定多数	47,500
地域医療支援事業	保健センターへの支援と、適切な医療を受けられない地域へ支援をする	通年	カンボジア・シェムリアップ、他地域	10人	各地区、約1万人の不特定多数	6,750
派遣・教育事業	専門家を派遣し、スタッフへの医療や英語教育を行う。	通年	ルアンパバーン県、近隣地域	20人	ルアンパバーン地区の不特定多数	1,400
衛生予防指導事業	適切な医療を受けることが困難な地域で衛生予防や栄養教育をする	1月および、 6月から12月	ミャンマー、他地域	10人	ミャンマー他の不特定多数	2,300
機材・薬品運搬事業	寄贈された物品や薬品、備品の輸送手配や、運搬をする。	通年	法人事務所、他	6人	医療従事者と患者の不特定多数	100
エイズ普及啓発事業	青森県の中学校で、3年生に「エイズと命」をテーマに講演をする。	12月	青森・五所川原第一中学校	2人	約300人	250
普及活動事業	HPやリーフレット、ニュースレターを活用、イベント等で広報に努める。	通年	法人事務所、他	30人	寄付者、 参加希望者	3,900